

平成30年度 第2回学校関係者評価報告書

鳥取県立倉吉高等学校

学校長 稲毛靖

評価日	平成31年3月20日(水)	
評価・提言	学校の所見・改善策等	
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>ア 将来を見越した生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒会活動の充実ぶりはA評価に値する。</li> <li>○自転車盗難防止モデル校は校内における施錠状況ではなく、盗難被害がない実態を重視するべきである。</li> <li>○生徒が伸び伸びと暮らせている実態に鑑みA評価とするのが妥当である。</li> </ul> <p>イ キャリア教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○パイオニアホームで上がった成果を他ホームに情報発信(還元)する部分の記述が必要。</li> <li>○指標の立て方は難しいかもしれないが、自主的に社会につながろうとする姿勢を育てる教育の継続的な取組を期待する。</li> </ul> <p>ウ 主体的な学習姿勢の構築及び学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○指標設定が高きに過ぎ、辛目の評価となっている印象も受けるが、教員の思いも尊重しB評価のままでよい。</li> </ul> <p>エ 情報収集、情報発信の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ホームページは特に保護者において好評であり、継続的な取組を期待する。</li> </ul> <p>(2) 説明・公表について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○指標の設定について継続的に検討を。</li> </ul> <p>2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について (特段の意見なし)</p> <p>3. 取組改善のための提言</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○職業観抜きに、資格取得(合格)のみを目的として勉強するような人材は期待外れ。本校の教育はそれとは異なる人材育成となっている。この点を大切にしながら取組みを継続することを期待する。</li> <li>○本校は地元の生徒・保護者の高い支持を得ている人気校であり、地域の重要な教育資源となっている。引き続きそういった存在であり続けることを期待する。</li> <li>○保護者の立場として、本校に入学させて本当に良かったと言える学校になっている。継続的に取組みを推進することを期待する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○A評価に変更する方向で検討する。自転車の施錠に限らず、物品の管理については引き続き注意喚起する。</li> <li>○他ホームへの情報発信(還元)の記述を追加する方向で検討する。</li> <li>○指標の立て方については見直しを含め検討する。取組みは継続する。</li> <li>○引き続き高い目標を掲げながら取組みを進めていく。</li> <li>○引き続き積極的に情報発信に努めていく。</li> <li>○継続的に検討する。</li> <li>○継続的に取組みを推進していく。</li> </ul>	